



学校だより

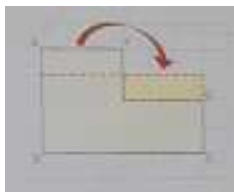
第9号

平成30年1月25日 発行

平成29年度
多古町立中村小学校
校長 宮内 進

日々の授業、充実しています

「明けましておめでとうございます」本年もなにか全員が健やかに成長できるよう、職員一丸となって頑張っていきます。よろしくお願いします。冬休み明けの9日、全校児童122名全員が元気に登校することができました。児童の笑顔を見て、改めて気持ちを引き締めているところです。22日、多古町の新春交流会で山崎商工会長が干支の戌戌にふれ、「2018年、戌年は“変化の年”新しいもの、新しい動きが始まる年、大きな変化が期待できる年です」とおっしゃっていました。社会だけでなく、一人一人にとっても自身の変化（成長）が期待できる年です。ただし『変化』はただ期待し、待っているだけでは起こりません。変化を起こすためには、行動をすることが大切です。前向きな努力を続けてこそ、大きな変化が訪れるのだと思います。学校は児童一人一人が様々な経験を通じて、より良い学習習慣・生活習慣を身に付ける場です。そして最も重要な教育活動は授業です。



第3号（6月）でお知らせしたとおり、本年度は研究テーマを「自ら学び、考え、主体的に問題を解決できる児童の育成」として、算数科学習を中心に日々の授業改善に取り組んでいます。昨年11月24日の第2回校内研究会、1年生は「ひきざん」の計算の仕方を、4年生は「面積のはかり方と表し方」を学習しました。

両学年とも、じっくり考え、自力で解決し、検証しあうことができました。特に午後に実施した4年生の授業には、他校からも算数・数学科の先生方が参観に訪れたため、学級児童数を上回る20人以上が見守る中での研究授業となりました。緊張しながらも勇気をもって挙手をし、解き方の説明をしている児童の姿に成長を感じました。1月に入り4年生の教室では「7.2ℓを3人で等分した時の一人分を求める」学習を通して、小数÷整数の計算の方法を丁寧に説明し合っていました。自信をもって自分の考えを発表する姿に11月の経験がしっかりと生きていました。どの学年も充実した授業を展開しています。今は年度のまとめの時、授業の参観を希望される保護者・地域の皆さん、ぜひ中村小学校（Tel 76-2456）に御連絡ください。

お知らせ

10日（水）校内書き初め大会、どの学年の児童も集中して取り組みました。

24日（水）6年生の租税教室、読売新聞社の記者の方が取材に来てくださいました。記事になるのが楽しみです。

インフルエンザが流行しています。26日発行の保健だよりを参考にして、予防に努めるようお願いします。

